

消 防 団



新入団員教養訓練

(令和4年4月24日 伊勢崎市消防本部)

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団

伊勢崎市消防団・玉村町消防団

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団現況配置図

(令和5年4月1日現在)

所在地〔事務局〕

伊勢崎市消防団	群馬県伊勢崎市今泉町二丁目895	[消防本部総務課消防団係]	TEL.0270-25-3511
第1・第2方面隊	〃伊勢崎市今泉町二丁目895	[伊勢崎消防署総務係]	TEL.0270-25-3918
赤堀方面隊	〃伊勢崎市西久保町二丁目341-3	[赤堀消防署総務係]	TEL.0270-62-0230
東方面隊	〃伊勢崎市東小保方町3238	[東消防署総務係]	TEL.0270-62-8980
境方面隊	〃伊勢崎市境萩原1753	[境消防署総務係]	TEL.0270-74-0012
玉村町消防団	〃佐波郡玉村町大字下新田201	[玉村町環境安全課]	TEL.0270-65-2511



伊勢崎市消防団の沿革

1. 市町村合併以前

○伊勢崎市消防団

- 明治27年 8月 従来の伊勢崎火防組を、伊勢崎消防組と改編し、3部制、定数183人、腕用ポンプ3台となる。
- 大正15年12月 3部制を6部制に改編し、定数77人に減員する。
- 昭和3年11月 6部制を5部制に改編し、定数73人に減員する。
- 昭和15年 9月 殖蓮村及び茂呂村合併により、伊勢崎市警防団に改編し、8個分団、定数846人となる。
- 昭和21年 7月 伊勢崎市警防団改編により、定数432人に減員する。
- 昭和22年12月 伊勢崎市警防団を、伊勢崎市消防団に改称する。
- 昭和26年10月 全分団に自動車ポンプを配置し、1個分団定員15人、自動車ポンプ13台、定数185人となる。
- 12月 伊勢崎市消防団常備消防部を10人増員し、計26人となる。
- 昭和30年 1月 三郷村合併により、手引きガソリンポンプ3台となり、団員50人を増員する。
- 3月 宮郷村、名和村及び豊受村合併により、伊勢崎市消防団は、18個分団341人、自動車ポンプ16台、手引きガソリンポンプ5台となる。
- 昭和46年 4月 組織再編により、伊勢崎市消防本部伊勢崎消防団から、伊勢崎佐波消防組合伊勢崎消防団となる。
(18個分団(うち2部制3個分団)319人)
- 昭和47年10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合伊勢崎消防団となる。
- 昭和53年 7月 第2分団1部を第2の1分団に、第2分団2部を第2の2分団に、第9分団1部を第9の1分団に、第9分団2部を第9の2分団に組織改編し、分団数が18個分団から20個分団(1個分団のみ2部制)となる。
- 昭和54年 4月 団本部に分団長級を3人増員し、定数320人となる。
- 昭和60年 4月 消防団が市に帰属し、伊勢崎市消防団となる。
- 平成8年 4月 第1分団1部を第1の1分団に、第1分団2部を第1の2分団に組織改編し、分団数が20個から21個分団となる。

○赤堀町消防団

- 明治27年11月 赤堀消防組を設置する。
- 昭和14年 4月 赤堀警防団に改称し、定数434人となる。
- 昭和22年 4月 赤堀消防団に改称する。
- 昭和39年 1月 赤堀消防団の編成が、6個分団、定数104人となる。
- 昭和46年 4月 組織再編により、伊勢崎佐波消防組合赤堀消防団となる。(6個分団、104人)
- 昭和47年 9月 群馬県消防ポンプ操法大会において、赤堀消防団第2分団が優勝する。
- 10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合赤堀消防団となる。
- 昭和48年 4月 赤堀消防団が優秀消防機関として、県知事から表彰状及び表彰旗を授与される。
- 昭和60年 4月 消防団が町に帰属し、赤堀町消防団となる。

○東村消防団

- 明治28年 消防組6部を設置する。(警察の管理下)
- 昭和14年 1月 警防団令が公布され、警防団となる。
- 昭和23年 3月 消防組織法が施行され、消防団となる。(4個分団89人)
- 昭和45年 4月 東村消防団の編成が、4個分団、定数88人となる。
- 昭和46年 4月 組織再編により、伊勢崎佐波消防組合東消防団となる。
- 昭和47年10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合東消防団となる。
- 昭和60年 4月 消防団が村に帰属し、東村消防団となる。

○境町消防団

- 明治27年11月 公設消防組を5組(境、采女、剛志、島及び世良田)設置する。
- 昭和14年 4月 公設消防組合を廃止、公設警防団となる。
- 昭和22年 4月 公設警防団を廃止、消防団となる。
- 昭和30年 3月 町村合併により、境町、采女村、剛志村及び島村が廃止され境町になり、境消防団を設置する。
- 昭和32年11月 新田郡世良田村の一部が合併し、7個分団を増設して23個分団となる。
- 昭和36年 4月 消防団改編(分団統合)により、23個分団から18個分団となる。
- 昭和37年 4月 消防団改編(分団統合)により、18個分団から14個分団、定数265人となる。
- 昭和42年 4月 消防団改編により、9分団9部制、定数234人となる。
- 昭和46年 4月 組織再編により、伊勢崎佐波消防組合境消防団となる。(9個分団(うち3部制1個分団、2部制3分団)234人)
- 昭和47年10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合境消防団となる。
- 昭和55年 4月 消防団組織改編により、部制を廃止、9分団9部制から14分団、定数234人となる。
- 昭和60年 4月 消防団が町に帰属し、境町消防団となる。
- 平成2年 4月 消防団条例の改正により、副団長3人、定数219人となる。

2. 市町村合併後

- 平成17年 1月 市町村合併に伴い、伊勢崎市消防団（定数320人）が伊勢崎市伊勢崎消防団に、赤堀町消防団（定数104人）が伊勢崎市赤堀消防団に、東村消防団（定数91人）が伊勢崎市東消防団に、境町消防団（定数219人）が伊勢崎市境消防団に改称する。
- 1月 玉村町と消防団相互応援協定を締結する。
- 3月 太田市と消防相互応援協定を締結する。
- 平成18年 2月 前橋市及び桐生市と、消防団相互応援協定を締結する。
- 3月 みどり市と消防団相互応援協定を締結する。
- 12月 伊勢崎市伊勢崎消防団第1の2分団及び第17分団に、消防ポンプ自動車CD-I型を更新し、配備する。
- 平成19年 4月 消防団の一元化と組織の改編に伴い、4消防団を統合し、伊勢崎市消防団（1本部5方面隊、定数734人）を配置する。
- 4月 初代消防団長に、吉岡伸也氏が就任する。
- 12月 伊勢崎第1方面隊第4分団及び伊勢崎第2方面隊第16分団に、消防ポンプ自動車CD-I型を更新し、配備する。
- 平成20年 2月 赤石地区整備事業に伴い、伊勢崎第1方面隊第1の1分団詰所を、曲輪町28番23号から曲輪町27番7号に、新築移転する。
- 4月 第2代消防団長に、小堀和行氏が就任する。
- 4月 深谷市及び本庄市と、消防団相互応援協定を締結する。
- 12月 北関東自動車道波志江スマートIC設置に伴い、伊勢崎第1方面隊第9の1分団詰所を、波志江町2574番地から波志江町2638番地2に、新築移転する。
- 平成21年 1月 伊勢崎第1方面隊第11分団及び伊勢崎第2方面隊第2の1分団に、消防ポンプ自動車CD-I型を更新し、配備する。
- 4月 組織の改編により、団本部員の副方面隊長の階級を、副団長から分団長に改め、副団長階級を16人から5人、分団長階級を45人から56人とする。併せて、伊勢崎第1方面隊及び伊勢崎第2方面隊から伊勢崎を削除し、第1方面隊及び第2方面隊に改称する。
- 4月 第3代消防団長に、矢内昌春氏が就任する。
- 5月 消防庁長官表彰を受章する。
- 7月 組織の改編により、部長階級を廃止し、定数735人となる。
- 12月 第2方面隊第2の2分団及び第18分団に、消防ポンプ自動車CD-I型を更新し、配備する。
- 平成22年 3月 境方面隊第1分団に、消防ポンプ自動車CD-I型（900リットル水槽付）を更新し、配備する。（経済危機対策臨時交付金事業）
- 4月 第4代消防団長に、齋藤本目氏が就任する。
- 4月 境消防署配備の消防ポンプ自動車CD-I型（900リットル水槽付）を、伊勢崎市消防団の災害対応車として配置換えし、車両運用の効率化を図るため、東方面隊本部配備の水防車を東消防署に、境方面隊本部配備の水防車を境消防署に配置換えする。
- 平成23年 1月 境方面隊第2分団及び第8分団に、消防ポンプ自動車CD-I型を更新し、配備する。
- 4月 第5代消防団長に、矢内豊氏が就任する。
- 5月 群馬県知事総合表彰を受章する。
- 平成24年 1月 東方面隊第3分団及び境方面隊第14分団に、消防ポンプ自動車CD-I型を更新し、配備する。
- 平成25年 2月 第2方面隊第8分団に消防ポンプ自動車CD-I型を、赤堀方面隊第1分団に消防ポンプ自動車CD-I型（900リットル水槽付）を更新し、配備する。
- 4月 伊勢崎市消防団の組織等に関する規則を、一部改正し、副団長及び方面隊長の兼務を解き、それぞれ専任とする。また、団本部を17人から18人に増員する。
- 平成26年 2月 第1方面隊第12分団に消防ポンプ自動車CD-I型を、境方面隊第11分団に消防ポンプ自動車水I-A型（1,500リットル水槽付）を更新し、配備する。
- 11月 総務省消防庁から借受した、救助資機材搭載型消防ポンプ自動車を、伊勢崎市消防団の災害対応車として境消防署に配備する。
- 平成27年 2月 第1方面隊第1の1分団及び第10分団に、消防ポンプ自動車CD-I型を更新し、配備する。
- 平成28年 2月 東方面隊第4分団及び境方面隊第13分団に、消防ポンプ自動車CD-I型を更新し、配備する。
- 平成29年 2月 第2方面隊第13分団及び境方面隊第5分団に、消防ポンプ自動車CD-I型を更新し、配備する。
- 3月 日本消防協会定例表彰を受章する。
- 4月 伊勢崎市消防団の組織等に関する規則を、一部改正し、赤堀方面隊本部の副方面隊長を2人から1人とし、団本部を18人から17人に減員する。
- 平成30年 2月 第1方面隊第5分団及び赤堀方面隊第6分団に、消防ポンプ自動車CD-I型を更新し、配備する。
- 4月 第6代消防団長に、諏訪耕平氏が就任する。
- 平成31年 2月 第2方面隊第6分団及び第14分団に、消防ポンプ自動車CD-I型を更新し、配備する。
- 令和 2年 2月 第1方面隊第3分団及び境方面隊第10分団に、消防ポンプ自動車CD-I型（普通免許対応）を更新し、配備する。
- 4月 伊勢崎市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例を、一部改正し、機能別消防団員制度を導入する。

- 1 0 月 救助活動用資機材（エンジンカッター、チェーンソー及び油圧切断機）を、第 1 方面隊、赤堀方面隊及び東方面隊に配備する。
- 1 2 月 第 1 方面隊第 9 の 1 分団及び東方面隊第 2 分団に、消防ポンプ自動車 C D - I 型（普通免許対応）を更新し、配備する。
- 1 2 月 第 1 方面隊第 1 1 分団詰所の老朽化に伴い、東上之宮町 3 2 7 から東上之宮町 4 3 9 - 2 に、新築移転する。
- 令和 3 年 2 月 水災活動用資機材として、ボートを 2 艇（第 1 及び第 2 方面隊に 1 艇、境方面隊に 1 艇）配備する。また、排水ポンプを 2 台（第 1 及び第 2 方面隊に 1 台、境方面隊に 1 台）配備する。
- 3 月 総務大臣から感謝状を授与される。
- 令和 4 年 1 月 第 1 方面隊、赤堀方面隊、東方面隊及び境方面隊に、方面隊本部車を更新し、配備する。
- 1 月 赤堀方面隊第 4 分団詰所の老朽化に伴い、西野町 4 9 5 に新築する。
- 4 月 第 7 代消防団長に、金井健一氏が就任する。
- 1 2 月 赤堀方面隊第 3 分団詰所の老朽化に伴い、香林町二丁目 1 2 9 5 - 8 から香林町二丁目 1 2 9 1 - 5 3 に、新築移転する。
- 令和 5 年 3 月 赤堀方面隊第 4 分団に、消防ポンプ自動車 C D - I 型（普通免許対応）を更新し、配備する。

伊勢崎市消防団組織表

(令和5年4月1日現在)

	所在地	区 域	団 員 配 置						計	
			団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員		
団本部	今泉町二丁目895 (消防本部総務課内)	伊勢崎市管内一円	1	8	8				17	
第1方面隊	方面隊本部	今泉町二丁目895 (伊勢崎消防署内)		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)	
	1の1分団	曲輪町27-7			1	1	2	11	15	
	1の2分団	柳原町70-1			1	1	2	11	15	
	3分団	宮前町161			1	1	2	11	15	
	4分団	上植木本町2309-11	三和町曙区・三和町堤区・三和町書上区 本関町区・鹿島町植木区・鹿島町中下区 上植木本町区			1	1	2	11	15
	5分団	上諏訪町1588	豊城町区・上諏訪町区 日乃出町下諏訪町区・日乃出町神谷区			1	1	2	11	15
	9の1分団	波志江町2638-2	波志江町一丁目区・波志江町二丁目区 波志江町三丁目区			1	1	2	11	15
	9の2分団	安堀町264	安堀町区・太田町区			1	1	2	11	15
	10分団	宮子町1170-6	稲荷町区・宮子町区			1	1	2	11	15
	11分団	東上之宮町439-2	田中町区・上之宮町区・宮古町区			1	1	2	11	15
	12分団	連取町3331-1	連取本町区・連取元町区 連取町区・田中島町区			1	1	2	11	15
第2方面隊	方面隊本部	今泉町二丁目895 (伊勢崎消防署内)		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)	
	2の1分団	三光町7-50			1	1	2	11	15	
	2の2分団	中央町24-10			1	1	2	11	15	
	6分団	今泉町一丁目1233-1	上泉町区・八坂町区 今泉町一丁目区・今泉町二丁目区			1	1	2	11	15
	7分団	茂呂町二丁目3318-5	北千木町区・南千木町区 茂呂町一丁目区・茂呂町二丁目区			1	1	2	11	15
	8分団	茂呂南町4479	美茂呂町区・ひろせ町区 茂呂南町区・新栄町区			1	1	2	11	15
	13分団	山王町393-6	今井町区・山王町区			1	1	2	11	15
	14分団	柴町629-3	菰塚町区・阿弥大寺町区・柴町区			1	1	2	11	15
	15分団	福島町29-1	堀口町区・中町区・戸谷塚町区 福島町区・八斗島町区			1	1	2	11	15
	16分団	富塚町2419-5	除ヶ町区・大正寺町区・富塚町区 下道寺町区			1	1	2	11	15
	17分団	馬見塚町1046	馬見塚天神町区・馬見塚三ツ橋町区 馬見塚中町区・馬見塚本町区 馬見塚湊町区・馬見塚清水町区 リバータウン広瀬区・羽黒町区			1	1	2	11	15
18分団	下蓮町18-6	長沼本郷町区・長沼町区・上蓮町区 下蓮町区・国領町区・飯島町区			1	1	2	11	15	

名称	所在地	区 域	団 員 配 置						計	
			団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員		
赤堀方面隊	方面隊本部	西久保町二丁目341-3 (赤堀消防署内)	赤堀方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (1)				(2)
	1分団	西久保町一丁目55-1	西久保町一丁目区・西久保町二丁目区 曲沢町区・赤堀今井町一丁目区 赤堀今井町二丁目区			1	1	3	15	20
	2分団	赤堀鹿島町523-2	赤堀鹿島町区・間野谷町区			1	1	2	11	15
	3分団	香林町二丁目1291-53	香林町一丁目区・香林町二丁目区			1	1	2	11	15
	4分団	西野町495	野町区・磯町区・西野町区			1	1	2	11	15
	5分団	下触町999-1	下触町区・五日牛町区			1	1	2	11	15
	6分団	市場町二丁目360	西久保町三丁目区・堀下町区 市場町一丁目区・市場町二丁目区			1	1	3	15	20
東方面隊	方面隊本部	東小保方町3238 (東消防署内)	東方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (1)				(2)
	1分団	東町2597-2	小泉町区・東町区 八寸町区・西小保方町区			1	1	3	17	22
	2分団	東小保方町3339-1	下代区・平井町区・下谷区 下区・新町区・三室町区			1	1	3	17	22
	3分団	田部井町一丁目1433-1	田部井上区・田部井下区・向原区 上田町区			1	1	3	17	22
	4分団	国定町一丁目1250-32	東国定上区・東国定下区 西国定上区・西国定下区			1	1	3	17	22
境方面隊	方面隊本部	境萩原1753 (境消防署内)	境方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)
	1分団	境東279	境東町区・諏訪町区・元町区 南町区・境仲町区・上町区 萩原町区・清水町区・美原区			1	1	3	15	20
	2分団	境伊与久2537-1	伊与久一区・二区・三区			1	1	2	11	15
	3分団	境木島424-6	百々東区・百々区・木島区			1	1	2	11	15
	4分団	境上淵名1143-1	上淵名区			1	1	2	11	15
	5分団	境下淵名1857-8	下淵名六区・下淵名七区			1	1	2	11	15
	6分団	境東新井452-1	東新井区			1	1	2	11	15
	7分団	境下武士460-1	上武士区・下武士西区・下武士東区			1	1	2	11	15
	8分団	境保泉880-2	保泉区・保泉一丁目区			1	1	2	11	15
	9分団	境小此木463-4	小此木区			1	1	2	11	15
	10分団	境島村43-1	中島区・北向区・西島前河原区			1	1	2	11	15
	11分団	境島村2594-1	新地区・新野新田区・立作区			1	1	2	11	15
	12分団	境平塚1221-5	平塚区・南米岡区・北米岡区			1	1	2	11	15
	13分団	境三ツ木239-9	境新栄区・栄町区・女塚区・三ツ木区			1	1	2	11	15
	14分団	境上矢島905-1	西今井区・上矢島区			1	1	2	11	15
合 計				1	8	53	45	97	531	735

※ 表中の()は兼務者を指す。

※ 表中の隊長は方面隊長、副隊長は副方面隊長を指す。

※ 機能別消防団員は、本部又は方面隊本部、若しくは分団に所属し、条例定数735人の範囲内とする。

伊勢崎市消防団車両一覧表

(令和5年4月1日現在)

	車両名	メーカー	登録番号	登録年月日	ポンプ			原動機		備考
					製作所	型式	級別	燃料	排気量	
団本部	団本部車	ニッサン	800あ2378	R3.12.9				ガソリン	650	第1・第2方面隊と兼用
	団本部2号車	トヨタ	800せ8886	H31.1.25				ガソリン	2,690	第1・第2方面隊と兼用
	災害対応車	いすゞ	800せ6001	H26.11.27	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	2,990	CD-I型 (救助資機材搭載)
第1方面隊	1の1分団	トヨタ	800せ6119	H27.2.5	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型 (可搬C-1積載)
	1の2分団	日野	830た1102	H18.12.7	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	3分団	トヨタ	800せ9551	R2.1.21	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (可搬C-1積載) (普通免許対応)
	4分団	日野	800す9801	H19.12.18	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型
	5分団	トヨタ	800せ8190	H30.1.19	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	9の1分団	トヨタ	800そ187	R2.11.19	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (普通免許対応)
	9の2分団	ニッサン	800さ1696	H11.11.24	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型 (可搬C-1積載)
	10分団	トヨタ	800せ6120	H27.2.5	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	11分団	トヨタ	800せ768	H20.11.19	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	12分団	トヨタ	800せ5322	H26.2.4	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
第2方面隊	2の1分団	トヨタ	800せ767	H20.11.19	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	2の2分団	トヨタ	800せ1723	H21.11.16	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	6分団	トヨタ	800せ8916	H31.2.13	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	7分団	いすゞ	88ね143	H10.11.30	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	8分団	トヨタ	800せ4990	H25.2.6	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	13分団	トヨタ	800せ7510	H29.1.12	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	14分団	トヨタ	800せ8915	H31.2.13	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	15分団	いすゞ	88ね144	H10.11.30	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	16分団	日野	800す9802	H19.12.18	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	17分団	日野	830そ1017	H18.12.7	〃	〃	〃	〃	〃	〃
18分団	トヨタ	800せ1722	H21.11.17	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)	
赤堀方面隊	方面隊本部車	ニッサン	880あ2377	R3.12.9				ガソリン	650	
	1分団	トヨタ	800せ4491	H25.2.6	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	4,000	CD-I型 (900L水槽付)
	2分団	いすゞ	88ね897	H11.3.8	〃	〃	〃	〃	4,570	CD-I型
	3分団	いすゞ	800さ2207	H12.1.31	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	4分団	トヨタ	800そ1779	R5.2.16	〃	〃	〃	ガソリン	1,990	CD-I型 (普通免許対応)
	5分団	いすゞ	88ぬ6897	H9.10.13	〃	〃	〃	軽油	4,570	CD-I型
	6分団	トヨタ	800せ8191	H30.1.19	〃	〃	〃	〃	4,000	〃

	車 両 名	メーカー	登録番号	登録年月日	ポ ン プ			原 動 機		備 考
					製作所	型式	級別	燃 料	排気量	
東 方 面 隊	方面隊本部車	ニッサン	880あ2380	R3.12.9				ガソリン	650	
	1分団	三菱	800す2923	H15.12.5	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	8,200	水II型 (2,000L水槽付)
	2分団	トヨタ	800そ188	R2.11.19	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (普通免許対応)
	3分団	トヨタ	800せ3619	H24.1.25	〃	〃	〃	〃	4,400	CD-I型
	4分団	トヨタ	800せ6841	H28.1.26	〃	〃	〃	〃	4,000	〃
境 方 面 隊	方面隊本部車	ニッサン	880あ2379	R3.12.9				ガソリン	650	
	1分団	トヨタ	800せ2081	H22.3.16	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	4,000	CD-I型 (900L水槽付)
	2分団	トヨタ	800せ2762	H23.1.11	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	3分団	いすゞ	800さ1271	H11.10.4	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	4分団	いすゞ	800さ7620	H13.9.28	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	5分団	トヨタ	800せ7511	H29.1.12	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	6分団	いすゞ	88ぬ6816	H9.9.29	〃	〃	〃	〃	4,570	〃
	7分団	いすゞ	88ぬ6817	H9.9.29	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	8分団	トヨタ	800せ2763	H23.1.11	〃	〃	〃	〃	4,000	〃
	9分団	いすゞ	800さ1272	H11.10.4	〃	〃	〃	〃	4,570	〃
	10分団	トヨタ	800せ9552	R2.1.21	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (普通免許対応)
	11分団	日野	800せ5327	H26.2.5	〃	〃	〃	〃	6,400	水I-A型(1,500L水槽付) (可搬C-1積載)
	12分団	いすゞ	800さ7621	H13.9.28	〃	〃	〃	〃	4,570	CD-I型
	13分団	トヨタ	800せ6843	H28.1.26	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型 (可搬C-1積載)
14分団	トヨタ	800せ3622	H24.1.25	〃	〃	〃	〃	4,400	CD-I型	

伊勢崎市消防団ポンプ車等の配備状況及び現有台数

(令和5年4月1日現在)

水槽付ポンプ車			普通ポンプ車	方面隊本部車	合 計	小型動力ポンプ C-1級
水II型	水I型	CD-I型	CD-I型			
A-2級			A-2級			
1	1	2	42(5)	5	51	10

※ 表中の()は、42のうち車両総重量3.5t未満の普通免許で運転可能なポンプ車の台数。

伊勢崎市消防団無線配備一覧表

(令和5年4月1日現在)

	消防救急デジタル携帯無線機	デジタル簡易無線機	消防救急デジタル携帯受令機
正副団長		4	4
第1方面隊	2	23 (本部3、各分団2)	63 (本部3、各分団6)
第2方面隊	2	25 (本部3、各分団2)	69 (本部3、各分団6)
赤堀方面隊	2	14 (本部2、各分団2)	39 (本部3、各分団6)
東方面隊	2	10 (本部2、各分団2)	27 (本部3、各分団6)
境方面隊	2	31 (本部3、各分団2)	87 (本部3、各分団6)
合 計	10	107	289

伊勢崎市消防団資機材配備一覧表

(令和5年4月1日現在)

	エンジンカッター	チェーンソー	油圧救助資機材	排水ポンプ	救助用ボート
第1方面隊	1	1	1	1	1
第2方面隊	1	1	1		
赤堀方面隊	1	1	1		
東方面隊	1	1	1	1	
境方面隊	1	1	1	2	2
合 計	5	5	5	4	3

1. 伊勢崎市消防団員年齢別状況

(令和5年4月1日現在)

18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳
0	0	1	9	8	3	9	6	10	7
28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳
11	14	13	12	18	21	24	15	30	18
38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳	47歳
36	30	29	34	43	21	28	30	33	15
48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳
29	15	20	15	14	12	7	6	8	3
58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳以上
3	2	3	2	4	1	0	1	0	2
							平均年齢	うち女性	合計
							40.6歳	39.1歳	675人

2. 伊勢崎市消防団員階級別在団年数状況

(令和5年4月1日現在)

階級	年数									合計
	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上		
団長							1			1
副団長						3	2	3		8
分団長		1	9	15	13	6	9	2		55
副分団長		2	9	14	8	11	1			45
班長		8	33	21	20	12	3			97
団員	24	100	103	118	71	34	14	5		469
合計	24	111	154	168	112	66	30	10		675人

3. 伊勢崎市消防団員の職業構成別状況

(令和5年4月1日現在)

農業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	卸売・小売・飲食店	サービス業	公務員	その他	合計
56	86	190	16	54	91	43	139	675人

4. 伊勢崎市消防団員の就業形態別状況

(令和5年4月1日現在)

被用者	自営業	家族従業者	その他	合計	
				うち学生	
459	106	55	55	9	675人

5. 伊勢崎市消防団出動状況

(令和4年中)

	火災	演習訓練	特別警戒	警防調査	その他	合計
出動回数	224	1,306	170	24	1,423	3147回
出動延人数	998	6,378	1,215	131	4,535	13257人

6. 伊勢崎市消防団充足率

(令和5年4月1日現在)

定数	実員	充足率
735	675	91.8%